

げいび清流米ご活用の皆様へ

「こんなに水が足りないのは初めてだ！」と話す近隣農家一同。今年で87歳を迎えた祖父もそう言うのだから、今年の水不足は相当酷いようです。田んぼに入れる水を川からポンプで吸い上げるのですが、その水が少ないのです。

今の時期に行う作業は水が必須なので困りました…。苗の育苗に使う貯水もみるみる減っていく様は不安が募りますし、予定していた順番で作業をこなせないこともあります。まとまった雨が早くふってくれることを祈るばかりです。

今月はいよいよ田植えの時期。我が家では5月6日から田植えを始めていました。お米作りの作業として、田植えのほかにも育苗、代(しろ)かきについてご紹介します。

・育苗 4月中旬から5月の田植えまで1日2回の苗への灌水、気温にあわせたハウスの開閉を行います。

約1,000枚の苗箱を並べたハウス4棟も高温時にうっかり開け忘れてしまうと苗が蒸し焼きになってしまいます。また、設備の不具合で水が十分にかからないと苗も健全に育ちません。ささいなミスで大量の苗を無駄にしてしまうため毎日気がぬけないです。



・代かき 田の土と水を混ぜあわせ、苗を植える田面を水平に整える作業です。この作業を行うと、細かい粒子になった泥が土の隙間を埋めて水漏れを防いでくれます。ほかにも土塊を砕いて泥にして苗を植えられる状態にする、雑草防除、土壌改善など様々な効果があります。

代かきを行う日付は早すぎても遅すぎてもダメ。全ての田んぼの代かきを終えてから田植えを開始したいところですが、そうはいきません。どうしてもこの時期は、代かき

と田植えを同時に進めなければいけないため、スケジュール調整が大変です。

・田植え 代かきが終わったら、いよいよ田植えの開始です。ダンプや軽トラックに積んだ苗箱を次々と田植え機に供給しながら植えます。

我が家では、家から離れた所の田も借りて合計100枚ほどの田に苗を植えます。田植え直前にちょうどよい水位に調整しておく必要があるのですが、これくらい田の数が多いと、その手間もなかなかのもの。

水不足の不安はまだ続きそうですが、今は黙々と作業を進めるのみ。5月下旬まで代かきと田植えを頑張ります。



6月の発送日は21日です。
(毎月第三金曜日)

(記：佐藤翔)

お問い合わせ先

〒029-0301 手県一関市東山町田河津字田の萱 58

フリーダイヤル0120-81-4153

FAX 0191-47-2769

Eメール okome@81-4153.com

生産者ホームページ <http://81-4153.com>

合同会社 田舎モノ 代表社員 佐藤 想 司

※日中は農作業のため留守電が対応します。ご用件をお話頂き、不明な場合はこちらよりご連絡いたします。

直売所

旬の逸品でご好評頂きました品々です。ご希望の場合はご用命下さい。

えごま油(焙煎)

税込**2,300**円/140g、**1,100**円/65g

えごま油(生)

税込**2,600**円/140g、**1,200**円/65g

ご注文方法：郵便振替用紙通信欄に数量、お届け日を明記の上ご注文下さい。下記フリーダイヤル、FAX、Eメールでもお受け致します。

※お米と一緒にお届けにしますと片隅に入れられる分は送料が掛かりませんのでご利用下さい。